



コア商事株式会社

日本ジェネリック製薬協会の皆様、こんにちは。ジェネリック医薬品原薬輸入専門商社のコア商事です。「賛助会員から」には今回で7回目の寄稿となります。

私どもはコア商事ホールディングスグループの一員であり、当グループの経営理念は「ジェネリックのベストパートナー」です。

この企業理念の目的とするところは、コア商事では、お客様に対して薬機法に従う優良な医薬品原薬を安定供給することであり、グループ内他社においては、お客様に対して薬機法に従う優良な医薬品等を供給することです。

グループ各社が各々の特性を生かしてシナジー効果をあげ、原薬輸入販売だけでなく、製品販売、受託製造などあらゆる切り口からジェネリックメーカー様のベストパートナーとなるべく日々活動しております。

ところで、皆様におかれましては、いわゆる『2025年問題』はすでによくご承知のことと思います。2025年には「人口の5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上」になると言われますと、私どもも、あらためて恐れを感じずにはられません。日本の人口は2004年をピークにすでに減り始めており、全体では減っているのに75歳以上の人達だけは逆に増え続けているのです。

このような「超」超高齢社会ともいべき時を前にして、ジェネリック医薬品メーカー様の役割はますます重要性を増し、ジェネリック医薬品メーカー様のベストパートナーを標榜するコア商事もまたますますお役に立っていかねばならないと気持ちを引き締めているところです。

それでは、コア商事がお役に立てるのはどういう点か、今後更に力を入れていくべき点は何か、あらためて考えてみますと、それはやはりジェネリック医薬品の原薬に特化した専門商社であり、商社機能を核としながらも、ノウハウを持った専門部隊が、原薬の情報提供、薬機法対応、GMPサポートといった業務を一手にサポートし、周辺業務やアフターサポートも手がけ、柔軟で広範なサービスをご提供していることです。

コア商事は、専門商社として、ヨーロッパ、インド、中国、韓国など世界19カ国、95社の原薬サプライヤーと強固な関係を築いております。

DMF国内管理人 110品目(2017年6月期実績)

外国製造業者認定申請代理 49製造所(2017年6月期実績)

原薬取引品目数 180品目(2017年6月期実績)



ノウハウを持った専門部隊として、横浜と大阪の2ヶ所に医薬分析センターと自社倉庫を持っております。医薬分析センターと自社倉庫では2018年1月末現在、全従業員の47%にあたる35名ほどが勤務しており、品質保証部門の人員も併せますと、全従業員の70%強にあたる人員が、営業および開発チームをバックアップするべく、原薬の品質試験、開発試験、原薬の情報提供、薬機法対応、GMPサポートといった業務を遂行しております。

さらに大学の研究機関と連携して原薬の品質改良にあたる「SIセンター」という名称の研究施設も保有しております。

SIセンターでは、品質に問題がある既存原薬の品質改善法を構築し、原薬サプライヤーに技術提供しています。このことで、安価で原薬をご提供できる原薬サプライヤーを選定し、品質改善を行なっても薬価改訂に対応できる原薬をご提供できます。

品質改善においては特許専門チームと連携し、特許を回避した特許満了後の製法や新たな製造プロセスを原薬サプライヤーに提供しています。

SIセンターは、これまで神奈川県相模原市にある「SIC さがみはら産業創造センター」内で研究活動を行っておりましたが、2月末から名称はそのままで、横浜にあるコア商事の本社からも医薬分析センターからも10分ほどの距離にあるグループ会社の敷地内に移り、よりスムーズなコミュニケーションのもとで活動してまいります。

コア商事を選んでいただくことが、優良な原薬を安定確実に調達する近道であると実感していただけることを目標に、さらに努めてまいりますので、引き続き皆様からのご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。